

「未来志向」で毎日の生活創りを！

今から2年前の卒業式に、「未来志向」という話をしました。式辞から引用すると、このような話でした。

「三年生の門出の日にあたり、『未来志向』という言葉を送りたいと思います。先ほど、全校生で歌った「立志の碑」の歌詞にある『目指すは未来』のことです。

具体的には、日々の生活の中で、少し先の未来、例えば三年先、五年先、十年先の未来の自分の姿を考えながら日々、生活していったほしいということです。三年後、五年後、こんな自分になりたい、というイメージをできるだけ具体的に思い描き、そこに繋がる行動や小さな努力・取り組みを日々、積み重ねていってください。」

2年前の卒業式ですので、卒業生は今の高校2年生なのですが、昨年度の卒業生＝今の高校1年生の生徒が、卒業の際の寄せ書きの色紙に、「これからも未来志向を大切にしていきます」と書いていました。

未来志向とは「自分の未来がこうなればいい。」「こんな未来にしたい！」「こんな未来の自分になるには、こんなことに挑戦していくぞ。」という思いを、日々つないでいくことです。そのためには、将来こうなりたいという未来の自分のイメージをできるだけ具体的に思い描くことが大切です。まずは半年とか一年後の自分を、そして3年後、5年後、20歳の自分、10年後の自分のイメージを具体的に創ってみてください。そのためには、自分自身の今を知ることがとても大切です。

未来の自分を思い描くには、今の自分が得意なこと、できること、



好きなことや、逆に苦手でありやらないこと、やりたくないこと、嫌いなこと等をしっかりと、客観的に見つめなければなりません。自分自身をかばったり、ごまかしたりすることなく、自分自身の今をそのまま把握していくことが、未来への第一歩となります。その次の段階として苦手なことを克服したり、得意なことをさらに磨いたりするのが第2歩目、第3歩目となり、確実に未来に向かって進んでいく「歩み」が始まるのだと考えます。

期末テストが先週終わりましたが、テスト結果についても今の自分自身を見つめることが大切です。テストのどの問題ができて、どの問題ができなかったかを見つめる＝振り返る＝分析すること、それを第一歩にし、できなかった問題をやり直したり、友だちや先生に聞いたりしてできるようになるのが第2歩目です。

これからの未来は、すべて今の自分とつながっています。今の自分をしっかり見つめ、自分の成長のためのアクションを起こすことが未来へつながる一歩一歩になっています。



福島スクール・サポート・スタッフ募集について

学校だより第20号(7月1日発行)で、第一報をお知らせしましたが、正式に「令和2年度福島スクール・サポート・スタッフ事業」として福島県で予算化されました。本日、別紙にて募集要項を配付しましたので、詳細は別紙をご覧ください。勤務内容は

- ・ 感染防止のための消毒作業の補助
- ・ 学習プリント等の印刷・仕分け
- ・ 学年・学級事務の補助 等が例示されていますが、教員でなくてもできる学校での業務全般となります。

条件等は募集要項をご覧ください、相応しい方がいらっしゃればご紹介・ご応募をお願いします。募集期間は7/17～8/7、事業開始は8月17日からとなっています。

